

第8回 地域コミュニティ・PTA部会 会議報告

日 時:令和7年12月19日(金)
午後6時30分～7時30分

1. 次 第

1. 開会
2. PTA会費および予算の検討について
3. その他
4. 閉会

2. 概 要

(1) 配布資料について

- ・川岸学園 PTA 会費試算資料
- ・市内小中学校のPTA会費比較表

(2) PTA組織・会費の検討について

▶PTA会費の決定

- ・現状の小中学校の予算合計(約 80 万円)を家庭数で割ると 1 世帯あたり約 2,300 円となるが、今後の児童数減少や物価上昇、予備費の確保を考慮し、PTA会費を「1 世帯あたり年額 3,000 円」とすることで合意されました。
- ・3,000 円に設定することで、端数がなくなり管理が容易になるほか、後述の新規イベント費用や役員への手当(報酬)の財源とすることが検討されました。
- ・小中統合により、複数の子供がいる家庭の負担は実質的に軽減される(例: 4,000 円→3,000 円)という側面も確認されました。
- ・川岸の特色ある活動(小学校:おしごと紹介、中学校:たこやま市場)は継続して実施することや活動への費用を手厚くすることが検討されました。

▶PTA活動の効率化とデジタル化

- ・PTA新聞や広報紙のペーパーレス化を推進し、メール配信や「すぐーる」等のデジタルツールへ移行することで、印刷費等のコストを大幅に削減する方針が示されました。

▶PTA役員の負担軽減と報酬

- ・ボランティア活動としての限界があるため、役員の心理的・時間的負担を考慮し、図書カードや施設利用券などの「役員報酬(手当)」を付与する可能性について議論されました。

▶「先生ありがとうイベント(仮)」の提案について

- ・教員の多忙化やネガティブなアンケート結果を受け、教員のウェルビーイング向上を目的とした「感謝を伝えるイベント」の実施が提案されました。
- ・保護者や生徒から感謝を伝える機会を作ることで、教員が気持ちよく教育に当たれる環境を整える狙いがあります。

▶地域コミュニティ・スクール(CS)への移行について

・令和8年2月より、学校評議員やボランティアの方々を対象に、コミュニティ・スクール移行に関する説明会を開始する予定であることが報告されました。

3. 今後の検討事項

- ・3,000円ベースでの予算配分の精査、全体予算(約112万5,000円)を各活動にどのように振り振るか、具体的な内訳を作成する
- ・県PTA負担金の確認:今後の予算編成に影響するため、正確な金額を確認する
- ・コミュニティ・スクール移行に向けた説明

4. 次回の日程について

令和8年1月30日(金)午後6時30分 開催予定
西部中学校 1階 応接室